



大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 電話 364-8442

中区事業活動について

大代中区町内会長 小野 菊郎

町内住民が、相互に親睦を図り、住み良い地域社会づくりを目的として活動しております。その目的を達成するため活動している現状(特に子供と住民の)を紹介いたします。

十九年度は左記の四人の振興員、推進員が担当し開催実施いたします。参加者は、延四百二十名(費用一人当たり三百六十円)を予定しております(十八年度実績は延二百八十七名・費用は一人当三百三十五円)

十九年度四月三十日現在、世帯数三百八十三・人口九百六十二名(内児童のいる世帯数五十三・その児童数八十名)

(記)

一 社会教育振興員

大菊つくり・器つくり・落書き消し隊

二 スポーツ振興員

盆踊り・グラウンドゴルフ・ボーリング

三 地域環境推進員

花壇管理・ゴミ集積所問題解決  
落書き消し隊

四 保健衛生推進員

とうふつくり・男だけのおかずつくり

※大菊つくりは、会員が育てた大菊の苗木を希望者に配布し、育成して大輪を咲かせていただき、併せて料理にし秋を満喫していただく事。

※器つくりは特にお子様の夏休み作品製作として企画しました。どんな作

品が出来るか期待しております。

※落書き消し隊は、地域を安全、安心に生活が出来る環境整備をしたいと考え、その一端として、大代橋下通路の落書きを消しましょうと、地域住民の奉仕で実施することになりました(夏休み中)。

※盆踊りは、町内会主催として、育成会、婦人会他各団体の協力を得て、一日通しの興行をいたします。出店他お祭りとお遊びを中心、夏の一日を昔に返り、楽しく終日すごしていただきます。

※グラウンドゴルフ、ボーリングは、子供達と住民の交流を遊びを通して図ります。

※花壇管理は、街に潤いを醸し出すべくペコニア等を植え付けており、草取り等維持管理を振興員中心に行っております。

※ゴミ集積所問題については、発生する問題は速やかに解決する協議体制を敷いております。

※とうふつくりは、お子さんと保護者が一緒につくり、出来たオカラ、とうふで料理をし、試食(昼食)をいたします。東小学校では、毎年四年生がとうふをつくりますが、中区から学習サポートでお手伝いいたしております。

※男だけのおかずつくりは、高齢化社会に向かって、生き生きとした人生を過ごす、台所を我が城にする、自分の健康・家族の健康に良いおかずをつく

る事を目的に、多賀城市役所の栄養師、中区食改の方に指導を得て実施いたします。

大代各地区子供会

夏休み行事予定

◆大代東区

八月四日(土)町内会主催の「盆踊り」があります。

◆大代中区

七月二十八日(土)に大代地区公民館で「夏祭り(盆踊り)」を開催します。どなたでも参加できますので、どうぞ遊びに来てください。

◆大代西区

夏休みの始めに子ども達の「自転車安全点検」を実施します。また、八月四日(土)に老人憩いの家で「夏まつり」を開催します。

◆大代北区

八月四日(土)に大代公園で「盆踊り」を開催します。また、八月十三日(日)に栗駒で「星を見る会」があります。

◆大代南区

八月四日(土)に町内会主催の夏まつり、演芸大会があります。

◆大代各地区子ども会育成会が

連携して行う夏休みの行事  
主催/大代地区子ども会育成連合会  
(大代東・中・西・北・南)

行事/夏休みキャンプ体験学習  
(小学四年生/六年生他)

場所/七ヶ浜キャンプ場

期日/七月三十一日(土)~

二十二日(日)



小倉百人一首入門(その七)

大代西 藤田 遊子

『滝の音は たえて久しく  
なりぬれど 名こそ流れて  
なほ聞こえけれ』

大納言公任

「概訳」滝の音は絶えて聞けなくなつてから、長い年月がたつていくが、その名高い評判だけが世間に流れ、伝わり未だに聞こえているのであるよ。

「主旨」水が溜れた滝も、久しく名高い評判が絶える事がない。  
「作者」小野宮実頼の弟。正二位大納言。『和漢朗詠集』など編集

が多い。享年七十五。

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

柏餅食べて入れ歯を取られけり  
柏餅届いて祖母のこしが伸び  
柏餅食べて一手を失いけり  
柏餅届いて母の国なまり  
柏餅食べて新郎励む夜

ご祝儀 お見舞いは 三 千円を限度にし お返し物はしないようにお互い気を配りましょう

# 戦争と平和 (五十)

大代南 後藤 清一

私はこれまで数年にわたって大代広報紙にシベリヤ抑留苦難の歴史その生活の実態について投稿して参りました。

今回で終稿となりますが、抑留実態を語り継ぐ事だけは続けたいと思うし、多くの皆さんから、もつとシベリヤを書けという方もいれば、何故そんなにシベリヤに拘り書き続けるのかと質問にあう事もある。半世紀以上も経つと全てが風化され人間の記憶も定かでないのだが、六十年経た今も忘れられないものとしてシベリヤを書かせているものなど私の短い体験を語ってきたに過ぎません。戦争はいかに無意味なものであるかそして人間の命の尊さを我々に問いかけている。そんな思いを残した囚われの抑留とは一体何だったのか。

故人老へず、生者老いゆく恨みかな。この句が痛く心に染みます。私も総てに老体の悲しさを感じます。

何時までまた来たよと泉下の友に声かけできるか。酷暑、酷寒の中励まし合った当時が砂時計のように音をたて頭をよぎります。間もなく我々が起居したラーゲルも全てが解体され元の広野に戻ればそこに行くには道もなければ、橋もない。そんなところに散在しているのが同胞の墓なのである。私がかこれまで語ってきた総ての事が確かだといえませんが今も私から離れないもの、私にシベリヤを書かせているものなど私の体験を話してきたに過ぎません。

だから私のシベリヤなんです。ロシア政府は全ての日本人が帰国すれば埋葬地の所在など考える事もなくそのまま放置されるであろう。私が年次を重ねて書き続けてきたのはシベリヤ抑留の実態を知る人は少なく、彼の地に眠る多くの同胞の死が無駄にならないためにも、子や孫に語り継ぎたい。こんな想いで書いて参りました。

あとがき

私たちは自分の意志とは反対に祖国から引き離され、強制労働を強いられしてきた。辛い過去を振り返り投稿して参りましたが、いろいろと皆様に感謝申し上げます。私の拙い手記を手にとって下さった方々に心からお礼を

申し上げます。有難うございました。私の些細な体験が戦争を知らない人達に将来の日本が平和を持ち続ける何等かの呼びかけとなる事ができたらと願いたい。

## モモ・クリ三年

大代東 本郷 新治

新入社員のみなさん、仕事になれましたか。仕事はスポーツと違ってつらいと思います。つらいけど頑張りました。先人は私たちにいい言葉を残してくれました。「モモ、クリ三年カキ八年」自然界においてすら、はじめから実を結ばないのです。早くて三年、おそくて八年かかります。その間、厳しい自然と戦って結実するのです。それを人間に当てはめてみると、一年目は仕事に無我夢中でおわり、二年目は仕事の力べに突きあたり、三年目からはじめて仕事が飛躍するといわれています。しかし、なかには一年目、二年目で挫折して、会社をやめていく方がおられます。ひじょうに残念なことです。もう少しの辛抱と忍耐力があれば、自分の仕事に飛躍を認めて、仕事に対する自信を深めたことでしょう。

「石の上にも三年」ということわざもあります。何事も辛抱すれば、目的を全うするという事です。これもやはり、忍耐力と根性の問題です。みなさんは私の話を聞いて、今は求人難の時代だ、もつとつかつこいい仕事がたくさんあるんだ、何も苦勞することも、

辛抱することも無い、と腹の中で思われたかもしれません、が、どんなにかいい仕事でも、それが仕事である以上、苦しみや悩みはつきものです。かつこよく生きるにも「モモ・クリ三年、カキ八年」です。つらい道はみんなが通った道です。くじけずにがんばりましょう。

## ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

棟梁の大き弁当花菜漬け  
脱ぎ捨てし花の衣の疲れかな  
花見山訛飛交う浜と山  
見も知らぬ人の交れぬ花筵  
孫三人金剛力の武者人形

笠神西 本郷 勝子

山坂や花盛りなる片栗の花  
一休み薄暗がりの二輪草  
木漏れ日や萌黄の色の鮮やかき  
残雪や桜が似合う山路かな  
春がすみ眼下になるは出羽の街

笠神西 吉野 珠子

墓参り街を抜ければ青田風  
墓参り相馬へ行きぬ立夏かな  
葛ざくらひやり手のひらうれしかり  
モーツァルト聴いて育つは茄子の花  
千がいておたまじゃくしの旅立ちは

大代五丁目 作山 はるえ

軽トラック桜の花ピラはりつけて  
にぎり食ふ桜吹雪を背にうけて  
道しるべ方言で記す春の山  
山いっばい片くりの花咲きにけり  
水の鉢蛙しばしの宿をとり

※紙面の関係上、一部掲載できなかった記事は次回以降に掲載します。

